

回 覧

「野崎島キャッチフレーズ」1次選考結果と投票の実施について（依頼）

「野崎島キャッチフレーズ」は、短い募集期間にもかかわらず30件近い応募が寄せられるなど、野崎島を資産に含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の早期世界遺産登録への期待の高さが表れた結果となりました。

予想を大きく超える応募数であったため、選考を2段階に分けることとし、1次選考を行いました結果、以下の7作品が最終候補作品となりました。

野崎島の魅力が古来より続く神への信仰の歴史、海から突然突き出たような急峻（きゅうしゅん）な地形や厳しい自然環境など、様々な角度から表現されており、いずれも個性豊かで素晴らしい作品の数々です。

そのため当初の計画を変更し、最終選考は教育委員会で行うのではなく、町民の皆様にご協力いただき、決定させていただきたいと存じます。

つきましては下記内容で投票の場を設けますので、是非、足をお運びいただき、野崎島のキャッチフレーズにふさわしいと思われる作品に投票をお願いいたします。

なお、選考の結果、最優秀賞となりました作品に投票された方の中から抽選にて、粗品を差し上げます。

投票受付期間：平成28年10月26日（水）～11月15日（火）

受付場所：小値賀町役場1階、小値賀町立図書館、小値賀港フェリーターミナル

■最終候補作品

No.	キャッチフレーズ	応募者のコメント
1	琥珀（こはく）の島 野崎島	キャッチフレーズと聞いて、真っ先に思い浮かんだものが「琥珀」でした。「琥珀」とは化石であり、宝石です。まさに野崎島を表現するに適した言葉だと思います。
2	天空の島 野崎島	神々が宿る野崎島は、雲の上に突き上げるような神秘的なイメージで、野首や舟森の段畑跡は宮崎駿監督の「天空の城ラピュタ」を想像させます。ロボット兵が出現するかも…。
3	太古より近代そして現在へ 一神の心が開く島 野崎島	古代には沖ノ神嶋神社が祀られ、19世紀には外海地方から潜伏キリシタンが信仰を守るために海を渡り、移り住むなど、まさに神様を身近に感じることができる島です。
4	日いづる島 野崎島	野崎島からいつまでも変わりなく昇る太陽のように、野崎島の歴史と自然が変わりなく受け継がれることを願って。
5	聖なる神すむ島 野崎島	野崎島を訪れる度に「聖なる場所」だと感じています。野崎島には神様が御住みなのでしょう。キャッチフレーズと聞いてすぐに「聖」の文字が頭に浮かびました。
6	神宿る島 野崎島	野崎島の北端に祀られた沖ノ神社は、いにしえより「お山様参り」と呼ばれる参拝が行なわれるなど、まさに神宿る島そのものであることを表現しました。
7	神の島に生きる 赤 Renga 教会 野崎島	日本古来の神が住む島に、海の向こうからもたらされたキリスト教の神が共存。祈り場である教会は、やむを得ず島を離れた住民の分まで、野首の高台に根を張り、今も生き続けています。

応募者の氏名は記載していません。